

実は撮影スポット満載！

滋賀県 フォトジェニックな寺社仏閣のご紹介

～地元スタッフがこっそり教える売り出し中スポット～

春から夏へと向かうこの時期、穏やかな気候になり、お出かけには最適な時期ではないでしょうか。今回は、思わず撮影したくなる滋賀県の寺社仏閣スポットをご紹介します。紹介する場所はすべて、地元の方がイチオシの売り出し中スポット。今度の休みはカメラを片手に滋賀県の寺社仏閣巡りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

・国指定の名勝では、昨年カフェをオープン！ 「青岸寺」(米原市)



庭園



喫茶去セット一例 600円(税込)
(抹茶ガトーショコラと薄茶)

米原市にある青岸寺は、琵琶湖の東部に点在する「近江七福神」の一寺院。南北朝時代、当時の近江守護職であった佐々木京極道誉によって建てられたのが始まりとされています。

◆庭園は国の名勝に指定

本堂裏手にある庭園は、裏山を背景に、山腹を利用して築かれた回遊式と観賞式を兼ねた庭園。1934年に国の名勝に指定されています。京都にある芸術大学の学習の場としても提供しているこの庭園は、雨上がりは格別美しく、山水画を思わせる深山幽谷の世界が現出します。

◆昨年から寺カフェ「喫茶去(きっさこ)」をオープン

庭園とともに心安らぐひとときを過ごしてもらうために、昨年オープンした寺カフェ「喫茶去」。名前の由来は、禅語で「お茶でも飲んでください」という言葉からきています。こだわりのサイフォン珈琲やケーキセット、またお地蔵様を描いたラテなどバラエティーに富んだメニューを提供しています。メニューはもちろん、室内も素敵な撮影スポット。日々の喧騒から離れて、美しい庭園を見ながらちょっと一服してみませんか。(喫茶は庭園拝観者のみの提供となります)

<青岸寺>

- 所在地：米原市米原669
- アクセス：JR「米原駅」より徒歩5分
- 拝観時間：9:00～17:00
- 拝観料：300円
- 問合せ先：0749-52-0463
- 参考URL：<http://www.seiganji.org/>

<寺カフェ喫茶去>

- 所在地：米原市米原669(青岸寺内)
- 営業時間：9:00～16:30
(冬季は9:00～15:30)
- 定休日：火曜日、第4月曜日
- 問合せ先：0749-52-0463



・別名「アジサイ寺」！この時期最高のお花スポット 「全長寺」（長浜市）

長浜市にある全長寺は、1597年に開山したお寺。賤ヶ岳の戦いで活躍した毛受兄弟の供養寺となっています。

ここでは、6月下旬～7月上旬にかけてたくさんのアジサイを見ることができます。住職が地域の活性化と境内の美観を保つために植え始めたアジサイは、今では60種計1600株が見事に咲き誇ります。花の色も種類豊かで、フォトジェニックな写真が撮影できること間違いなし。梅雨のこの時期、アジサイを撮影すれば、あなたも素敵なお花スポット“はなすたぐらむ”。



- 所在地：長浜市余呉町池原885
- アクセス：JR「木ノ本駅」よりバス乗車、「今市」下車後、徒歩5分
- 拝観時間：9:00～17:00
- 拝観料：300円
- 問合せ先：0749-86-2001
- 参考URL：<http://www.e-kohoku.net/zenchoji/>



・奉納するのは小さなダルマ！となりの神社では鳥居に向かって願い事を！ 「宝蔵寺」「都久夫須麻神社」（長浜市）

琵琶湖に浮かぶ島・竹生島にある宝蔵寺は、奈良時代、聖武天皇の勅命を受けた高僧行基が開基したのが始まりと言われています。

ここでは、「弁天様の幸せ願いダルマ」といって、小さくて赤い可愛いダルマの中にお願い事を書いた紙を収め、本堂に奉納するという願掛けがあります。奉納されたダルマは、本堂で1年間祈願されます。

また宝蔵寺のすぐ隣に位置する都久夫須麻神社では、「かわらけ」と呼ばれる小皿のようなものに名前と願い事を書き、眼下に見える鳥居に向かって投げる「かわらけ投げ」ができます。鳥居の間をくぐれば願い事が成就するといわれています。思いのこもった一瞬の表情をとらえた写真を撮ることができます。

- 所在地：長浜市早崎町1664
- アクセス：長浜・彦根・今津の各港より、船で約25分～40分
- 拝観時間：9:30～16:30（観光船就航時間に基づく）
- 料金：（入島料）大人400円、小人300円
（宝物殿拝観料）大人300円、小人250円
※入島には竹生島への乗船料（往復）が別途必要
（かわらけ投げ）1セット300円（かわらけ2枚）
- 問合せ先：0749-63-4410（宝蔵寺）
0749-72-2073（都久夫須麻神社）
- 参考URL：<https://www.chikubushima.jp/>（宝蔵寺）
<http://www.chikubusima.or.jp/>（都久夫須麻神社）



弁天様の幸せ願いダルマ



かわらけ投げ

・神社×兎！とってもかわいい神の使い 「三尾神社」(大津市)



ご神紋である真向きのうさぎが描かれている



めおと卯

大津市にある三尾神社は、1426年に足利将軍が社殿を再興したものと言われ、地元では「みおんさん」と親しまれる神社です。

◆境内のいたるところに兎が登場！

三尾神社は兎を神の使いとして祀っており、境内のいたるところでかわいい姿をした兎の置物やイラストを見ることができます。拝殿のそばに建っている2羽の兎は「めおと卯」と呼ばれており、安産や子授かり祈願にご利益があります。卯年生まれの方はもちろん、カップルや夫婦で訪れるのもいかがでしょうか。

◆兎が神の使いとなった理由

三尾神社は太古の頃、伊弉諾尊（イザナギノミコト）が長等山の地主神として降臨したのが縁起の始まりとされ、神はいつも赤、白、黒三本の腰帯を垂らしていたのが三つの尾を曳くように見えたところから「三尾大神」と名づけられました。腰帯は、それぞれ赤尾神、白尾神、黒尾神となられ、本神である赤尾神の出現が卯の年、卯の月、卯の日、卯の刻に、卯の方角からであったため、兎が神の使いとされています。

- 所在地：大津市園城寺町251
- アクセス：京阪「三井寺駅」より徒歩7分
- 拝観時間：9:00～17:00
- 問合せ先：077-522-3044
- 参考URL：<https://otsu.or.jp/thingstodo/spot128>

・琵琶湖畔に建つ大鳥居！時間によって景色が変わる場所であなただけの一枚を 「七本柳の鳥居」(大津市)

来年の大河ドラマの主演、明智光秀の銅像が建つ坂本城址公園のそばには、琵琶湖にせり出す大きな鳥居を見ることができます。この鳥居は、「七本柳の鳥居」と呼ばれています。毎年4月14日、日吉大社の山王祭で街を練り歩いてきた7基の神輿を船に乗せる船渡御がここで行われます。

上部に三角形の破風（屋根）が乗った形をしたこの鳥居は山王鳥居と呼ばれ、非常に珍しい形です。

日の出の時間には、鳥居の間から昇る朝日を撮影することができます。またそれ以外でも、時間帯によって琵琶湖や空の色が刻々と変化します。ぜひあなただけの素敵な一枚を撮影しにお越しください。

- 所在地：大津市下阪本1丁目32
- アクセス：京阪「松ノ馬場駅」より徒歩20分
- 問合せ先：077-528-2772（びわ湖大津観光協会）



・これぞフォトジェニック！「扇おみくじ」は9種類 「千代神社」（彦根市）



彦根市にある「千代神社」は、芸事の上達にご利益がある神社として有名です。天照大御神が天の岩戸に隠れた際、岩戸の前で踊って天照大御神を招きだした天宇受売命（アメノウズメノミコト）をご祭神としているのが理由です。また極彩色の朱塗りが施された本殿は国の重要文化財に指定されています。

ここの授与品の一つに「扇おみくじ」があります。広げると八ガキくらい大きさになるミニチュア扇には美しい絵柄が、裏には芸能上達に関する運勢が書かれています。絵柄は全部で9種類あるので、友達と訪れて違う絵柄の扇を写真に収めてみてはいかがでしょうか。

神棚や稽古場に飾るほか、御守袋に入れて持ち歩き、幸運を呼びこみましょう。

（扇おみくじ800円、御守袋200円）

- 所在地：彦根市京町2-9-33
- アクセス：JR「彦根駅」より徒歩15分
- 拝観時間：9:00～17:00
- 問合せ先：0749-22-1237
- 参考URL：<http://www.chiyonomiya.info/>

